

◎英語による修学について: 教育学専攻の博士前期課程(一般入試・社会人入試)及び博士後期課程(一般入試)では、英語による修学志望者の募集も行う。2022年度に受入可能な分野は「比較国際教育学」及び「国際教育開発学」の2領域のみである。各領域の担当教員の研究分野および連絡先は、教育学専攻 Web サイト(英語版 http://www.sophia-humans.jp/department/01_education_06.html)に掲載している。

英語による修学志望者は、9月入試に出願する際は原則として2021年6月25日(金)(日本時間)までに、2月入試に出願する際は原則として2021年11月24日(水)(日本時間)までに、必ず指導を希望する教員に研究内容及び試験科目「教育学」の受験可能な専門科目について相談すること。その際に、履歴書を添付すること。なお、前期課程で社会人入試を希望する場合は、適用基準を確認した上で、社会人入試の件も含めて指導を希望する教員に相談すること。

一般入試 (博士前期)

(1) 出願前の事前連絡等

- ・英語による修学を希望する者は、指定の日程までに、指導を希望する教員に相談すること(詳細は上記)。
- ・本学教育学科卒業(見込)者(2021年9月卒業または2022年3月卒業見込)に対する筆記試験免除制度がある。詳細については、専攻事務室に問い合わせること。

(2) 出願に必要な書類

<日本語修学>

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
大学院における研究計画書	全員	研究テーマ(題目)、目的、方法、内容について(A4判2枚・日本語約2,000字または英語約800ワード)
【9月入試】 教育学に関する研究論文 【2月入試】 教育学に関する卒業論文の 写しまたはそれに準ずる研 究論文	全員※	※【2月入試】のみ、本学教育学科卒業見込者は不要。 【9月入試】 A4判・日本語約10,000字または英語約4,000ワード 【2月入試】 日本語または英語で作成されたものとする。なお、卒業論文がない者及び教育学以外の学科を卒業(見込)の者は、教育学に関連する研究論文(A4判・日本語約10,000字または英語約4,000ワード)を提出すること。
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。
外国語試験(英語)免除の 申請に関する書類	該当者のみ	TOEFL iBT 79点以上、TOEIC L&R 785点かつS&W 310点以上、IELTS 6.0以上、英検準1級以上のスコアがある場合は、外国語試験(英語)を免除する。 出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果

		のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

<英語修学>

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
大学院における研究計画書	全員	研究テーマ(題目)、目的、方法、内容について(A4判2枚・英語約800ワード)。
【9月入試】 教育学に関する研究論文 【2月入試】 教育学に関する卒業論文の 写しまたはそれに準ずる研 究論文	全員※	※【2月入試】のみ、本学教育学科卒業見込者は不要 【9月入試】 A4判・英語約4,000ワード 【2月入試】 英語で作成されたものとする。なお、卒業論文がない者及び教育学以外の 学科を卒業(見込)の者は、教育学に関連する研究論文(A4判・英語約4,000ワード)を 提出すること。
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務 先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。 日本語でも可。
英語の能力の証明書類	該当者のみ	TOEFL iBT 85点以上 TOEIC L&R 840点かつ S&W 330点以上、IELTS 6.5以上、英検 1級のスコア ・出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果の のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・学士・修士課程のいずれかの教育を英語で受けた者については、証明書類の提出を 免除する。免除希望者は、出身大学(大学院)から学部(大学院)の教育カリキュラムが 英語で実施されている旨を証明した書類を提出のこと(学部長等、責任者の署名が必要)。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェッ クリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・Web 出願システム入力画面の「志望コース、領域等」欄で、「日本語修学」または「英語修学」を選択すること。
- ・英語による修学志望者は、事前連絡・相談に対応した教員名を、Web 出願システム入力画面の「事前連絡教員名」欄に必ず入力すること。
- ・外国語科目については、Web 出願システム入力画面の「選択外国語1」で選択する科目を選択すること。
- ・専門科目については、Web 出願システム入力画面の「選択科目」欄で、選択する2科目を選択すること。

・外国語試験の免除(英語のみ)を申請する場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で”外国語試験免除”を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。

・本学教育学科卒業(見込)者筆記試験免除を申請する場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で”学内進学者免除”を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。

(4) 試験日

9 月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	
2 月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	2/17(木)

(5) 試験内容

筆記試験	外国語 〈選択科目〉	9:30～11:00	英、独、仏、中国語のうちから母語以外の1ヶ国語を出願時に選択。 ※外国人志願者は、英、独、仏、中国、日本語のうちから母語以外の言語を出願時に選択。 ※辞書持込可(ただし電子辞書は不可とする)。 ※〈日本語修学〉英語を選択する場合の試験免除については(2)出願に必要な書類の“外国語試験(英語)免除の申請に関する書類”を参照。 ※〈英語修学〉外国語の試験なし。
	教育学 〈選択科目〉	13:00～14:30	①教育学共通問題(必須) ②専門科目(教育哲学、日本教育史、教育方法学、学校教育学、教育社会学、国際教育開発学、比較国際教育学)の中から2科目を出願時に選択。 ※英語による修学志望者は、専門科目(国際教育開発学、比較国際教育学、学校教育学)の中から2科目を出願時に選択。
口述試験	右記参照		9月入試は筆記試験終了後、2月入試は口述試験日の10:00～実施する。

※英語による修学志望者の試験は、筆記試験の教育学と口述試験のみ。

一般入試 (博士後期)

※ 9月入試では博士前期課程修了者および2021年9月修了見込者のみ募集

(1) 出願前の事前連絡等

- ・志願者は、出願期間の開始前に専攻事務室を通して専攻主任まで連絡すること。

(2) 出願に必要な書類

＜日本語修学＞

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
研究計画書	全員	研究のテーマ(題目)、目的、方法、内容について(A4判2枚・日本語約2,000字または英語約800ワード)。
修士論文の写し	全員※	※本学教育学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要 日本語または英語で作成されたものとする。他の言語で作成されている場合は、その要約を日本語約20,000字または英語約8,000ワードにまとめて、修士論文の写しと併せて提出すること。
修士論文概要	全員	A4判・日本語約2,000字または英語約800ワード。
関連論文がある場合には そのコピー	任意	
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。
外国語試験(英語)免除の 申請に関する書類	該当者のみ	TOEFL iBT 79点以上、TOEIC L&R 785点かつS&W 310点以上、IELTS 6.0以上、英検準1級以上のスコアがある場合は、外国語試験(英語)を免除する。 出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学Webサイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

＜英語修学＞

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
研究計画書	全員	研究のテーマ(題目)、目的、方法、内容について(A4判2枚・英語約800ワード)。
修士論文の写し	全員※	※本学教育学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要 日本語または英語で作成されたものとする。他の言語で作成されている場合は、その要約を英語約8,000ワードにまとめて、修士論文の写しと併せて提出すること。
修士論文概要	全員	A4判・英語約800ワード。

関連論文がある場合には そのコピー	任意	英語で作成されたもの。
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。日本語でも可。
英語の能力の証明書類	該当者のみ	TOEFL iBT 85 点以上、TOEIC L&R 840 点かつ S&W 330 点以上、IELTS 6.5 以上、英検 1 級のスコア ・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・学士・修士課程のいずれかの教育を英語で受けた者については、証明書類の提出を免除する。免除希望者は、出身大学(大学院)から学部(大学院)の教育カリキュラムが英語で実施されている旨を証明した書類を提出のこと(学部長等、責任者の署名が必要)。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・Web 出願システム入力画面の「志望コース、領域等」欄で、「日本語修学」または「英語修学」を選択すること。
- ・英語による修学志望者は、事前連絡・相談に対応した教員名を、Web 出願システム入力画面の「事前連絡教員名」欄に必ず入力すること。
- ・外国語科目については、Web 出願システム入力画面の「選択外国語 1」で選択する科目を選択すること。
- ・外国語試験の免除(英語のみ)を申請する場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で「外国語試験免除」を選択すること。
なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。

(4) 試験日

9 月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	
2 月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	2/17(木)

(5) 試験内容

筆記試験	外国語 <選択科目>	9:30~11:00	英、独、仏、中国、日本語のうちから母語以外の 1 ヶ国語を <u>出願時に選択</u> 。 ※辞書持込可(ただし電子辞書は不可とする)。 ※<日本語修学> 英語を選択する場合の試験免除については(2)出願に必要な書類「外国語試験(英語)免除の申請に関する書類」を参照。 ※<英語修学> 外国語の試験なし。
口述試験		口述試験日の 10:00~	

※英語による修学志望者の試験は、口述試験のみ。なお、海外在住の場合は、スカイプ等を利用することがある。スカイプ等での選考を希望する場合は、出願期間前までに必ず入学センターに相談すること。

社会人入試（博士前期）

(1) 出願前の事前連絡等

- ・志願者は、出願期間の開始前に専攻事務室を通して専攻主任まで連絡すること。

(2) 入試時期

9月入試	博士前期課程
2月入試	

- (3) 適用基準：社会人とは、大学を卒業した者もしくはそれに準ずる資格を有する者で、卒業後、社会上の経験が入学時点で3年以上あり、それが研究計画との関係で有用であると認められる者（職務経験は問わない）。

(4) 出願に必要な書類

<日本語修学>

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
大学院における研究計画書	全員	研究テーマ(題目)、目的、方法、内容について(A4判2枚・日本語約2,000字または英語約800ワード)。
【9月入試】 教育学に関する研究論文 【2月入試】 教育学に関する卒業論文の 写しまたはそれに準ずる研 究論文	全員※	※【2月入試】のみ、本学教育学科卒業見込者は不要。 【9月入試】 A4判・日本語約10,000字または英語約4,000ワード 【2月入試】 日本語または英語で作成されたものとする。なお、卒業論文がない者及び教育学以外の学科を卒業(見込)の者は、教育学に関連する研究論文(A4判・日本語約10,000字または英語約4,000ワード)を提出すること。
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。
社会人入試申請書	全員	所定用紙・本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載。
外国語試験(英語)免除の 申請に関する書類	該当者のみ	TOEFL iBT 79 点以上、TOEIC L&R 785 点かつ S&W 310 点以上、IELTS 6.0 以上、英検準1級以上のスコアがある場合は、外国語試験(英語)を免除する。 出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

＜英語修学＞

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
大学院における研究計画書	全員	研究テーマ(題目)、目的、方法、内容について(A4判2枚・英語約800ワード)。
【9月入試】 教育学に関する研究論文 【2月入試】 教育学に関する卒業論文の 写しまたはそれに準ずる研 究論文	全員※	※【2月入試】のみ、本学教育学科卒業見込者は不要。 【9月入試】 A4判・英語約4,000ワード 【2月入試】 英語で作成されたものとする。なお、卒業論文がない者及び教育学以外の 学科を卒業(見込)の者は、教育学に関連する研究論文(A4判・英語約4,000ワード)を提 出すること。
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先 の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。日本 語でも可。
社会人入試申請書	全員	所定用紙・本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載。 英語で作成されたものとする。
英語の能力の証明書類	該当者のみ	TOEFL iBT 85点以上、TOEIC L&R 840点かつ S&W 330点以上、IELTS 6.5 以上、英検 1級のスコア ・出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果の み有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・学士・修士課程のいずれかの教育を英語で受けた者については、証明書類の提出を免 除する。免除希望者は、出身大学(大学院)から学部(大学院)の教育カリキュラムが英語 で実施されている旨を証明した書類を提出のこと(学部長等、責任者の署名が必要)。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェック リストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(5) Web 出願システム登録時の注意点

- ・Web 出願システム入力画面の受験枠で「社会人入試」を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。不許可の場合は一般入試枠の受験となる。
- ・Web 出願システム入力画面の「志望コース、領域等」欄で、「日本語修学」または「英語修学」を選択すること。
- ・英語による修学志望者は、事前連絡・相談に対応した教員名を、Web 出願システム入力画面の「事前連絡教員名」欄に必ず入力すること。
- ・外国語科目については、Web 出願システム入力画面の「選択外国語1」で選択する科目を選択すること。
- ・専門科目については、Web 出願システム入力画面の「選択科目」欄で選択する科目を選択すること。
- ・外国語試験の免除(英語のみ)を申請する場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で「外国語試験免除」を選択すること。
なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。

(6)試験日

9月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	
2月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	2/17(木)

(7)試験内容

筆記試験	外国語 〈選択科目〉	9:30～11:00	<p>英、独、仏、中国語のうちから母語以外の1ヶ国語を<u>出願時に選択</u>。</p> <p>※外国人志願者は、英、独、仏、中国、日本語のうちから母語以外の言語を<u>出願時に選択</u>。</p> <p>※辞書持込可(ただし電子辞書は不可とする)。</p> <p>※〈日本語修学〉英語を選択する場合の試験免除については(4)出願に必要な書類の“外国語試験(英語)免除の申請に関する書類”を参照。</p> <p>※〈英語修学〉外国語の試験なし。</p>
	教育学 〈選択科目〉	13:00～14:30	<p>①教育学共通問題(必須)</p> <p>②専門科目(教育哲学、日本教育史、教育方法学、学校教育学、教育社会学、国際教育開発学、比較国際教育学)の中から1科目を<u>出願時に選択</u>。</p> <p>※英語による修学志望者は、専門科目(国際教育開発学、比較国際教育学、学校教育学)の中から1科目を<u>出願時に選択</u></p>
口述試験		右記参照	9月入試は筆記試験終了後、2月入試は口述試験日の10:00～実施する。

◎コースについて：心理学専攻博士前期課程には基礎心理学コース(募集人員 5 名)と臨床心理学コース(募集人員 15 名)があり、希望するコースを出願時に選択する。入学後に他のコースへ変更することはできない。また、2 コースの併願は認められない。臨床心理士の資格は取得しないが、臨床心理分野での研究をめざす志願者は基礎心理学コースを選択すること。臨床心理士や公認心理師を目指す者は、必ず臨床心理学コースを選択すること。

一般入試 (博士前期)

(1) 出願前の事前連絡等

・事前面談：志願者は、指導を希望する教員(未定の場合は、心理学専攻主任)に、9 月入試の場合は 6 月第 2 週までに、2 月入試の場合は 11 月第 2 週までに必ず連絡すること。

なお、事前面談の申込は、本学心理学専攻(e-mail: shinri_in-co@sophia.ac.jp)まで問い合わせること。追って、指導を希望する教員が決まっている場合にはその教員の、未定の場合には専攻主任の連絡先をお知らせする。

ただし、本学心理学科在学中の者及び卒業生は、希望する指導教員に直接連絡を取ること。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
大学院における研究計画書	全員	約 2,000 字。希望する研究テーマ等を記述したもの(臨床心理学コースに出願する者は、臨床心理学領域に関連したものでなければならない)。表紙に「志願者氏名」を明記すること。
【9 月入試】 心理学に関する卒業論文の 要旨または心理学に関して これまで学んだ内容をまとめ たもの 【2 月入試】 心理学に関する卒業論文の 要旨または心理学に関連す ると自分が判断する自著の 研究論文の要旨	全員※	※【2 月入試のみ】本学心理学科卒業見込者は不要。 【9 月入試】 要旨、学んだ内容は 2,000 字程度。 【2 月入試】 現在の自分の学問的水準を最もよく反映すると考える論文を選ぶこと。要旨は 4,000 字程度。
外国語検定試験(TOEFL、 TOEIC、IELTS、TEAP の いずれか)の成績	全員	・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・ TOEIC は L&R と S&W が必須。

		<p>【新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例措置】</p> <p>2022年度入試の特例措置として、<u>過去2年以内のスコアを持っていない場合に限り</u>、次のアイウエを追加する。</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、受験予定だった上記外国語検定試験が中止となった受験生は、有効期間外(出願期間開始月から遡って2年以上前に受験)のスコアの提出も可とする。本学に公式証明書が直送できない場合は、受験者本人に届く証明書の原本(または原本証明印のあるコピー)も受け付ける。</p> <p>イ 本学在学中の者は、証明書の原本の代わりに、Loyolaの外国語検定スコア画面のコピー(プレイズメント・テストおよびAC-TEAPの結果)を提出することができる(言語教育研究センターに登録されているその他の外国語検定試験の結果は含まない)。 Loyolaの外国語検定スコア画面は、学生情報>学生カルテ>外国語検定試験のタグから確認すること。</p> <p>ウ 上記アイに該当しない場合に限り、これらに準じる他の英語検定試験の証明書の原本(または原本証明印のあるコピー)の提出も可とする。なお、有効期間外(出願期間開始月から遡って2年以上前に受験)のスコアの提出も認める。</p> <p>エ 上記ア～ウの試験結果を証明する書類も提出できず、これから実施される受験可能な外国語検定試験(TOEFL, TOEIC, IELTS, TEAP)を受験する場合は、外国語検定試験の成績のみ9月入試は8月24日(火)、2月入試は1月14日(金)を提出期限とする。なお、<u>外国語検定試験の成績以外の出願書類は必ず出願書類提出期限までに提出し、遅れて提出する外国語検定試験の種類および提出予定日を出願書類チェックリストに記すこと。</u></p>
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、 <u>厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること</u>
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学Webサイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・コースの選択については、Web 出願システム入力画面の「志望コース、領域等」欄で、志願するコース(「基礎心理学コース」または「臨床心理学コース」)を必ず選択すること。
- ・指導教員については、Web 出願システム入力画面の「指導教員」欄に、指導を希望する教員名を入力すること(第1希望が決まっている場合は、1名のみでよい)。

(4) 試験日

9月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	9/16(木)
2月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	2/17(木)

(5) 試験内容

筆記試験	心理学	9:30~11:30	基礎心理学コースと臨床心理学コースの問題は異なる。
口述試験		口述試験日の 10:00~	

※特に記載がない場合は、辞書の持込は不可とする。

一般入試（博士後期）

(1) 出願前の事前連絡等

・事前面談：志願者は、指導を希望する教員（未定の場合は、心理学専攻主任）に、11月第2週までに必ず連絡すること。

なお、事前面談の申込は、本学心理学専攻(e-mail: shinri_in-co@sophia.ac.jp)まで問い合わせること。追って、指導を希望する教員が決まっている場合にはその教員の、未定の場合には専攻主任の連絡先をお知らせする。

ただし、本学心理学専攻在学中の者及び修了生は、希望する指導教員に直接連絡を取ること。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
研究計画書	全員	・約 2,000 字。 ・テーマ、主たる内容を記述したもの。表紙に「志願者氏名」を明記すること。
修士論文または 心理学に関連すると自分が 判断する自著の研究論文一 篇の写し	全員※	※本学心理学専攻博士前期課程修了見込者は不要。 現在の自分の学問的水準を最もよく反映すると考える論文を選ぶこと。
外国語検定試験(TOEFL、 TOEIC、IELTS、TEAP の いずれか)の成績	全員	・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。 ・ TOEIC は L&R と S&W が必須。 【新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例措置】 2022 年度入試の特例措置として、 <u>過去 2 年以内のスコアを持っていない場合に限り</u> 、次のアイウエを追加する。 ア 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、受験予定だった上記外国語検定試験が中止となった受験生は、有効期間外(出願期間開始月から遡って 2 年以上前に受験)のスコアの提出も可とする。本学に公式証明書が直送できない場合は、受験者本人に届く証明書の原本(または原本証明印のあるコピー)も受け付ける。 イ 上記アに該当しない場合に限り、これらに準じる他の英語検定試験の証明書の原本(または原本証明印のあるコピー)の提出も可とする。なお、有効期間外(出願期間開始月から遡って 2 年以上前に受験)のスコアの提出も認める。 ウ 上記ア、イの試験結果を証明する書類も提出できず、これから実施される受験可能な外国語検定試験(TOEFL、TOEIC、IELTS、TEAP)を受験する場合は、外国語検

		定試験の成績のみ1月14日(金)を提出期限とする。なお、 <u>外国語検定試験の成績以外の出願書類は必ず出願書類提出期限までに提出し、遅れて提出する外国語検定試験の種類および提出予定日を出願書類チェックリストに記すこと。</u>
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学Webサイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・指導教員については、Web 出願システム入力画面の「指導教員」欄に、指導を希望する教員名を入力すること(第1希望が決まっている場合は、1名のみでよい)。

(4) 試験日

2月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	2/17(木)

(5) 試験内容

筆記試験	心理学	9:30~11:30	
口述試験		口述試験日の 10:00~	

※特に記載がない場合は、辞書の持込は不可である。

一般入試（博士前期）

(1) 出願前の事前連絡等

- ・本学社会学科卒業(見込)者(2021年9月卒業または2022年3月卒業見込)に対する筆記試験免除制度がある。詳細については専攻事務室に問い合わせること。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9参照。
研究計画書	全員	約1,000字。研究のテーマ、目的、方法等を要約する。
卒業論文がある場合には そのコピー	該当者※	※本学社会学科卒業(見込)者は不要。 卒業論文は社会学以外の分野でも可。論文が日本語・英語以外の言語により執筆されている場合は、A4判3枚程度の日本語または英語による要旨を添付すること。
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学Webサイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・本学社会学科卒業(見込)者(2021年9月卒業または2022年3月卒業見込)が筆記試験の免除を申請する場合(要・専攻事務室への事前問い合わせ)は、Web出願システム入力画面の「免除申請」欄で「学内進学者免除」を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。

(4) 試験日

2月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	

(5) 試験内容

筆記試験	専門科目	9:30~11:30	社会学の基礎、理論、方法論より出題する。
	英語	13:00~14:00	英和辞書持込可(ただし電子辞書を除く)。
口述試験		筆記試験終了後	

一般入試（博士後期）

(1) 出願前の事前連絡等

- ・志願者は、出願期間の開始前に、希望する指導教員または専攻主任まで連絡すること。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
研究計画書	全員	2,000 字以内。
修士論文の写し	全員※	※本学社会学専攻修了(見込)者は不要。 概要書は不可。論文が日本語・英語以外の言語により執筆されている場合は、A4 判 5 枚程度の日本語または英語による要旨を添付すること。
意見書	任意	提出する場合は書式自由。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤 務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載するこ と。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェ ックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) 試験日

2 月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	

(4) 試験内容

筆記試験	専門科目	9:30～11:30	社会学の基礎、理論、方法論より出題する。
	英語	13:00～14:00	英和辞書持込可(ただし電子辞書を除く)。
口述試験		筆記試験終了後	

◎養成プログラムについて：社会福祉学専攻(博士前期課程及び博士後期課程)には大学院修了後の進路に関連して「研究者養成プログラム」と「高度福祉専門職養成プログラム」があり、希望するプログラムを出願時に選択する。

「養成プログラム」とは大学院修了後、下記のそれぞれの専門職を養成することを目的として、学生が履修計画を立てる際に指導するプログラムのことで、履修科目自体を分けたコース制を意味するものではない。

「研究者養成プログラム」における「研究者」とは、大学、短期大学、専門学校、研究機関等における研究教育職を指し、「高度福祉専門職養成プログラム」における「高度福祉専門職」とは、大学院博士前期課程以上の教育を受けた後、社会福祉、保健医療、その他の分野でソーシャルワーカー等として就く社会福祉専門職を指す。

一般入試（博士前期）

(1) 入試説明会・出願前の事前連絡等

- ・入試説明会を6月及び11月に実施する予定。詳細は本学 Web サイトに掲載。
- ・本学社会福祉学科卒業見込者に対する筆記試験免除制度がある。詳細については、専攻事務室に問い合わせること。
- ・日本国内の他大学で社会福祉学科または社会福祉学に関連する学科に在学する卒業見込者もしくは同学科等を卒業した者で、事前審査で許可された者のみに対する筆記試験の全科目免除制度がある。詳細については後述「◆筆記試験全科目免除」を参照のうえ、専攻事務室に問い合わせること。
- ・長期履修制度(詳細は後述)に申請する者は、Web 出願開始日までに申請書を入学センターに提出すること。
- ・上智社会福祉専門学校卒業(見込)者(若干名)に対する特別入学制度がある。詳細については、専門学校事務室(03-3238-3021)に問い合わせること。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
研究計画書	全員	・A4 判横書・約 3,000 字、英文でも可。 ・まず社会福祉学専攻に進学する理由を簡潔に述べた上で、研究の目的、社会福祉にとつての意義、研究方法、研究スケジュール等についてまとめる。
社会福祉学に関する卒業論文の写し、またはそれに準ずる研究論文あるいは研究レポート	全員	「それに準ずる研究論文あるいは研究レポート」の場合は、A4 判横書・6,000 字以上。英文でも可。
英語試験免除申請に関する書類	研究者養成プログラムの 該当者のみ	TOEFL iBT 79 点以上、TOEIC L&R730 点かつ S&W290 点以上、IELTS 6.0 以上、英検準 1 級以上のスコアがある場合は、英語試験を免除する。 出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。

筆記試験全科目免除の事前審査に対する専攻からの通知文のコピー	該当者のみ	詳細は後述「◆筆記試験全科目免除」を参照。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

- ・プログラムについては、Web 出願システム入力画面の「志望コース、領域等」欄で、志望するプログラム(「研究者養成プログラム」または「高度福祉専門職養成プログラム」)を必ず選択すること。
- ・専門科目については、Web 出願システム入力画面の「選択科目」欄で、選択する科目(福祉政策・運営管理系科目、福祉臨床系科目のいずれか 1 科目)を選択すること。
- ・英語試験免除(研究者養成プログラムの該当者のみ)を申請する場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で“外国語試験免除”を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。
- ・本学社会福祉学科卒業見込者が筆記試験の免除を申請する場合(要・専攻事務室への事前問い合わせ)は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で“学内進学者免除”を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。
- ・他大学出身者で、事前審査の結果により筆記試験全科目免除が許可された者(後述「◆筆記試験全科目免除」を参照)は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で“その他試験免除”を選択すること。

(4) 試験日

9月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	
2月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	

(5) 試験内容

<研究者養成プログラム>

筆記試験	専門科目 〈選択科目〉	9:30～11:30	福祉政策・運営管理系科目、福祉臨床系科目のいずれか 1 科目を <u>出願時に選択</u> (注)。
	英語	13:00～14:30	英和辞典持込可(ただし電子辞書を除く)。 ※英語の試験免除については(2)出願に必要な書類“英語試験免除申請に関する書類”を参照。
口述試験		筆記試験終了後	ただし、筆記試験全科目免除者は 10:00 開始

<高度福祉専門職養成プログラム>

筆記試験	専門科目 〈選択科目〉	9:30～11:30	福祉政策・運営管理系科目、福祉臨床系科目のいずれか 1 科目を <u>出願時に選択</u> (注)。
	口述試験		筆記試験終了後
			ただし、筆記試験全科目免除者は 10:00 開始

(注)専門科目における「福祉政策・運営管理系科目」とは、本専攻の開講科目で例示すると、社会福祉政策学、社会福祉経営学、保健医療政策学などで構成される科目である。一方、「福祉臨床系科目」とは、ソーシャルケースワーク研究、ソーシャルグループワーク

研究、ソーシャルワーク実践理論研究などで構成される科目である。

◆筆記試験全科目免除

日本国内の他大学で社会福祉学科または社会福祉学に関連する学科に在学する卒業見込者もしくは同学科等を卒業した者で、事前審査で許可された者のみに対する筆記試験の全科目免除制度がある。なお、9月入試は既卒者のみ、2月入試は卒業見込者と既卒者が対象。詳細については専攻事務室に問い合わせること。

事前審査のため、以下の書類を出願前(9月入試は6月7日(月)まで、2月入試は11月8日(月)まで)に社会福祉学専攻事務室に提出すること(郵送・必着)。審査結果は文書で通知する。

- 1) 筆記試験全科目免除事前審査申請書 (所定用紙・本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)
- 2) 研究計画書 (書式自由・A4判2枚程度)
 - 研究課題、その内容と意義、研究方法をまとめたもの
- 3) 【9月入試】大学の卒業証明書、成績証明書
 - 【2月入試】大学の卒業(見込)証明書、成績証明書(履修中の科目も含む)
- 4) 上記3)の成績証明書に記載されている社会福祉学に関連する修得済(見込)科目の講義概要のコピー
- 5) 社会福祉学に関する卒業論文の写し
 - 卒業論文以外の研究論文や研究レポートは認めない
- 6) 意見書(任意)

提出する場合は所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。出身大学の指導教員が作成し、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。

郵送先: 〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1 上智大学大学院総合人間科学研究科社会福祉学専攻事務室

※「大学院社会福祉学専攻 一般入試筆記試験全科目免除 事前審査書類在中」と封筒表に明記の上、簡易書留で郵送
事前審査の結果、筆記試験全科目免除が許可された者のみ、出願の際には Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で「その他試験免除」を選択すること。

長期履修制度について

社会福祉学専攻博士前期課程では、出願期間開始前の申請により、標準修業年限2年間の課程を3年間で修了する制度を設けます。本制度が適用された場合、学費については以下の通りとなります。

- ・授業料、教育充実費: 当該年度における、標準修業年限2年間の課程の年額の 3分の2の額
- ・在籍料: 当該年度における、標準修業年限2年間の課程の年額と同額

上記の他、学生教育研究災害傷害保険料(保険期間3年)は入学時に納入、同窓会費(40,000円)は最終年次に納入となります。

対象: 社会福祉学専攻博士前期課程志願者のうち、職業を有している者

申請方法: 申請書(所定用紙)及び申請資格を証明する書類を入学センターに提出する。

※申請書(所定用紙)は本学 Web ページの「大学院入学試験」の項からダウンロードしてください。

※申請希望者は Web 出願開始日までに申請書類を入学センターに提出してください。期日を過ぎた場合は、入学センターまでご連絡ください。

一般入試（博士後期）

(1) 入試説明会・出願前の事前連絡等

◎事前連絡： 必須ではありません。（下記の筆記試験免除申請者を除く）。

・入試説明会(任意参加)を6月及び11月に実施する予定。詳細は本学 Web サイトに掲載。

・本学社会福祉学専攻修了見込者に対する筆記試験免除制度がある。詳細については、専攻事務室に問い合わせること。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
研究計画書	全員	A4 判横書・約 4,000 字、英文でも可。 研究の目的、社会福祉にとっての意義、研究方法、論文作成スケジュール等についてまとめる。
社会福祉学に関する修士論文の写し、またはそれに準ずる研究論文	全員	「それに準ずる研究論文」の場合は、A4 判横書・文字数の制約はなし。英文でも可。
上記論文の概要	全員	約 2,000 字・A4 判横書、英文でも可。
その他、関連論文等	任意	専門雑誌・単行本などに発表された社会福祉学に関する論文・調査報告・実践報告、学会報告等がある場合はその写し。学会報告は要旨でよい。
英語試験免除申請に関する書類	該当者のみ	TOEFL iBT 79 点以上、TOEIC L&R730 点かつ S&W290 点以上、IELTS 6.0 以上、英検準 1 級以上のスコアがある場合は、英語試験を免除する。 出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

・プログラムについては、Web 出願システム入力画面の「志望コース、領域等」欄で、志望するプログラム(「研究者養成プログラム」または「高度福祉専門職養成プログラム」)を必ず選択すること。

・専門科目については、Web 出願システム入力画面の「選択科目」欄で、選択する科目(福祉政策・運営管理系科目、福祉臨床系科目のいずれか 1 科目)を選択すること。

・英語試験免除を申請する場合は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で「外国語試験免除」を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。

・本学社会福祉学専攻修了見込者が筆記試験の免除を申請する場合(要・専攻事務室への事前問い合わせ)は、Web 出願システム入力画面の「免除申請」欄で「学内進学者免除」を選択すること。なお、不許可となった場合を想定して、必要事項は全て選択・記入すること。申請結果は受験票発行時に通知する。

(4) 試験日

9月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	
2月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	

(5) 試験内容<研究者養成プログラム・高度福祉専門職養成プログラム共通>

筆記試験	専門科目 <選択科目>	9:30～11:30	福祉政策・運営管理系科目、福祉臨床系科目のいずれか 1 科目を <u>出願時に選択</u> (注)。
	英語	13:00～14:30	英和辞典持込可(ただし電子辞書を除く) ※英語の試験免除については(2)出願に必要な書類の“英語試験免除申請に関する書類”を参照。
口述試験		筆記試験終了後	

(注)専門科目については、博士前期課程の頁を参照すること。

社会人入試 (博士前期)

(1) 入試時期

9月入試	博士前期課程
2月入試	

(2) 適用基準: 福祉・保健医療・行政・司法等の領域における実務経験が入学時点で通算 3 年以上ある者で、かつ出願前の事前審査で許可された者。

(3) 出願前の事前審査で提出する書類

出願前(9月入試は6月7日(月)まで、2月入試は11月8日(月)まで)に、以下の書類を社会福祉学専攻事務室に提出すること(郵送・必着)。審査結果は文書で通知する。

- 1) 社会人入試事前審査申請書 (所定用紙・本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)
- 2) 研究計画書 (書式自由・A4 判横書・約 3,000 字、英文でも可)
まず社会福祉学専攻に進学する理由を簡潔に述べた上で、研究の目的、社会福祉にとっての意義、研究方法、研究スケジュール等についてまとめる。
- 3) 本専攻での研究を希望する理由書(書式自由:A4 判 1～2 枚程度)
- 4) 実務経歴書(書式自由:A4 判 1 枚程度)
実務経歴の期間、所属機関・部署名、業務概要を記載すること
- 5) 社会福祉学に関する卒業論文の写し、またはそれに準ずる研究論文あるいは研究レポート
「それに準ずる研究論文あるいは研究レポート」の場合は、A4 判横書・6,000 字以上。英文でも可。
- 6) 勤務先の上司等の意見書(任意) (所定用紙・本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)

郵送先: 〒102-8554 千代田区紀尾井町 7-1 上智大学大学院総合人間科学研究科社会福祉学専攻事務室

※「大学院社会福祉学専攻 社会人入試 事前審査書類在中」と封筒表に明記の上、簡易書留で郵送

(4) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
社会人入試の事前審査に對する専攻からの通知文のコピー	全員	
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(5) Web 出願システム登録時の注意点

事前審査で許可された者のみ、Web 出願システム入力画面の受験枠で「社会人入試」を選択すること。

(6) 試験日

9月入試	口述試験	9/15(水)
2月入試	口述試験	2/16(水)

(7) 試験内容

口述試験	10:00~	
------	--------	--

総合人間科学研究科	看護学専攻
-----------	-------

一般入試（修士）

(1) 入試説明会・出願前の事前連絡等

- ・入試説明会は6月及び11月に実施予定。詳細は本学 Web サイトに掲載。
- ・長期履修制度（詳細は後述）に申請する者は、Web 出願開始日までに申請書を入学センターに提出すること。
- ・奨学金について：下記の奨学金の詳細については、看護学専攻に問合せること(dp-nurse@sophia.ac.jp)。
がん・緩和ケアを研究される方(成績優秀者)は、上智大学愛和会緩和ケア看護奨学金の給付を受けることが可能。
国際看護学を研究される方は、学外奨学金(小倉一春記念国際看護奨学基金奨学生等)に応募することが可能。

(2) 出願に必要な書類

提出書類	対象者	備考
上智大学志願票	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学成績証明書	全員	詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ。詳細は入試要項(共通)p.7-9 参照。
入試要項(共通)p.5 看護学 専攻修士課程の出願要件の 資格・免許を証明する書類	全員	各種免許証は A4 サイズに縮小コピーすること。
志望動機・興味のある研究テ ーマに関する論述	全員	構成は以下の通りとする。手書き不可、A4 判(1 枚:40 字×40 行)。 ・志願者氏名 ・希望する指導教員名(未定の場合はその旨を記載) ・志望動機(400 字) ・興味のある研究テーマ(800 字程度:現在のところ、修士課程で行おうと考えている研 究テーマについて、なぜ、そのテーマに興味を持っているのか、何を明らかにしたい のかを論述する。)
受験承諾書	該当者のみ	官公庁・会社・医療機関・教育機関等に在職のまま入学しようとする者は、所属長が作 成した受験承諾書が必要。
在留カード表面のコピー	該当者のみ	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ。
出願書類チェックリスト	全員	所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)を使用。提出書類はチェ ックリストの順に並べ、チェックリストも同封すること。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

専門科目については、Web 出願システム入力画面の「選択科目」欄で、選択する 1 科目を選択すること。

(4) 試験日

9 月入試	筆記試験	9/15(水)
	口述試験	
2 月入試	筆記試験	2/16(水)
	口述試験	

(5) 試験内容

筆記試験	英語	9:30～10:30	※辞書・電子辞書持込可
	専門科目 〈選択科目〉	10:45～11:45	研究分野に関する科目(基礎、成人、老年、小児、母性、在宅、地域、養護、国際看護学)の中から1科目を <u>出願時</u> に選択。
	小論文	13:00～14:00	
口述試験		14:15～	

長期履修制度について

看護学専攻修士課程では、出願期間開始前の申請により、標準修業年限2年間の課程を3年間で修了する制度を設けます。本制度が適用された場合、学費については以下の通りとなります。

- ・授業料、教育充実費、実験実習研究費：当該年度における、標準修業年限2年間の課程の年額の 3分の2の額
- ・在籍料：当該年度における、標準修業年限2年間の課程の年額と同額

上記の他、学生教育研究災害傷害保険料(保険期間3年)は入学時に納入、同窓会費(40,000円)は最終年次に納入となります。

対 象：看護学専攻修士課程志願者のうち、職業を有している者

申請方法：申請書(所定用紙)及び申請資格を証明する書類を入学センターに提出する。

※申請書(所定用紙)は本学 Web ページの「大学院入学試験」の項からダウンロードしてください。

※申請希望者は Web 出願開始日までに申請書類を入学センターまで提出してください。